

配合飼料供給安定協議会 上期全国大会の概要（議事録）

1. 開催日時：平成 29 年 4 月 26 日（水）14：00～17：00

2. 開催会場：中野サンプラザ 15 階「フォレストルーム」

3. 参集者

各ブロック代表者、専門委員、本社関係等会員、事務局 計 30 名
来賓として

農林水産省生産局畜産部飼料課流通飼料対策室課長補佐 石橋 隆成氏

4. 議題・意見

（1）各ブロック代表の自己紹介

全国 6 ブロック代表が、今後の活動についての意見表明を含め、自己紹介を行った。

（2）平成 28 年度に実施した災害図上訓練で見えてきた課題と改善策について

事務局から、平成 29 年度第 1 回各ブロック会議において、これまでの訓練で見えてきた課題とこれを踏まえた改善策の具体化について話し合いをする旨の説明があった。

（3）平成 29 年度第 2 回ブロック会議にて実施する災害図上訓練の被災想定について、事務局から、超大型台風が各港湾に上陸したケースを想定する

ことを提示したところ、次の様な指摘、意見等があった。

① 台風は 1 週間前から予測されている。各社において備蓄を増やしたり生産を増やしたりして当日 2 日は稼働できないことを予測する。それ以上にまず本船が入ってこられない。海上保安庁が警報をだすので、本船は沖の方または入り江に避難することになる。

② 1 週間荷役ができないことを想定したときにどうするかの方が、現場現場では一番分かりやすい図上訓練になるのではないか。

③ 事前の進路が分かっているから、早めにお客さんとコミュニケーションをとってやりましょうという訓練ではないか。意思統一を図りまし

ようという訓練になるのではないか。

- ④ 1 年目の地震での想定をもっと掘り下げてやったほうがいいと感じた。

(4) 避難訓練の実施について、事務局から提案したところ、次の様な指摘、
意

見等があった。

- ① 大体、各社とも津波から身を守るための避難場所も決まっているので、
協

議会であえて実施する必要はないのではないか。

- ② 訓練については、現場の訓練とは違った、例えば、関係本社間で情報ル
ー

トの構築のための訓練を行ってもいいのではないか。

(5) その他

本社関係者から、次の様な指摘、意見等があった。

- ① 日頃からの段取りは大事だと感じた。ブロック毎の活動だとは思うが、
ある地域で何か起きたときは、その地域は皆同じ状況になる。他地域か
らの応援も考えてはどうか。

- ② 日頃からの連携を深めて行くことが大事だと思った。

- ③ 実体験の話を聞くのがいいのではないか。サイロ会社、エサ会社毎に苦
労したことがあると思う。

- ④ 直近で起きた PNW の問題の反省を題材としてはどうか。

- ⑤ この 1 年間で会員の意識が少しずつ変わってきたと感じている。皆、以
前より関心を持って取り組んでいるのではないか。

- ⑥ 3. 1 1 の時鹿島では皆で情報を持ち合って対応をした。情報ルートの
構

築は必要だと感じた。

- ⑦ 防災も大事だが、起きた後が大事。いかに大きく長期的な災害に対して想
定を行っていくのが、身近で考えやすいのではないか。地域間の協力も

考

えて行っていくのも面白いのではないか。

- ⑧ 日頃からの段取りをもっと考えていかなければと思った。

⑨ポータルサイト等を作成して、そのサイトで各社不足している備品が把握でき、貸し借りができるなどがあるのもいいのでは。

⑩PNW の件は考えて行きたいと思っています。